

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質							3.0
Q1 室内環境			0.32		-		3.2		
1 音環境		3.4	0.15		-		3.4		
1.1 室内騒音レベル	事務室の騒音レベルはNC40以下で規定	4.0	0.40		-				
1.2 遮音		3.0	0.40		-				
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-				
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-				
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-				
2 温熱環境		2.8	0.35		-		2.8		
2.1 室温制御		2.6	0.50		-				
1 室温		2.0	0.38		-				
2 外皮性能		3.0	0.25		-				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-				
2.2 湿度制御		3.0	0.20		-				
2.3 空調方式		3.0	0.30		-				
3 光・視環境		2.2	0.25		-		2.2		
3.1 昼光利用		3.0	0.30		-				
1 昼光率		3.0	0.60		-				
2 方位別開口			-		-				
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-				
3.2 グレア対策		1.0	0.30		-				
1 昼光制御		1.0	1.00		-				
3.3 照度		2.0	0.15	3.0	-				
3.4 照明制御		3.0	0.25		-				
4 空気質環境		4.6	0.25		-		4.6		
4.1 発生源対策		5.0	0.50		-				
1 化学汚染物質	全てフォスターの内装材を使用しホルムアルデヒド以外のVOCにも配慮	5.0	1.00		-				
4.2 換気		3.6	0.30		-				
1 換気量	換気量は30m ³ /h・人を確保	4.0	0.33	3.0	-				
2 自然換気性能		3.0	0.33		-				
3 取り入れ外気への配慮	各ガラリから6m以上の離隔を確保	4.0	0.33		-				
4.3 運用管理		5.0	0.20		-				
1 CO ₂ の監視		-	-		-				
2 喫煙の制御	全館禁煙としている	5.0	1.00		-				
Q2 サービス性能		-	0.30		-		3.6		
1 機能性		3.0	0.40		-		3.0		
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-				
1 広さ・収納性		3.0	0.33		-				
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33		-				
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-				
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30		-				
1 広さ感・景観	事務系諸室の天井高2.8mを確保	4.0	0.33		-				
2 リフレッシュスペース	BREAK ROOM(休憩室)を確保	4.0	0.33		-				
3 内装計画		1.0	0.33		-				
1.3 維持管理		3.0	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-				
2 耐用性・信頼性		4.2	0.30		-		4.2		
2.1 耐震・免震・制震・制振		5.0	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	免震構造の採用し、損傷制御設計としている。	5.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能	免震構造の採用	5.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種のうち、2種類以上にC以上を使用している。	4.0	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-				
2.4 信頼性		4.4	0.20		-				
1 空調・換気設備	換気設備、空調設備を重要度の応じて系統分けしている。配管は耐震グレードに応じた措置を施している。	5.0	0.20		-				
2 給排水・衛生設備	配管系統はバックアップを設けており、節水器具を採用している。	4.0	0.20		-				
3 電気設備	非常用発電設備及び無停電電源設備を導入している。電気設備・精密機械の地下空間への設置を避けている。	5.0	0.20		-				
4 機械・配管支持方法	機器及び配管は耐震グレードSとしている。	5.0	0.20		-				
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-				

3 対応性・更新性			3.9	0.30	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	階高7.2m以上を確保		5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり	国土交通省営繕部「建築構造設計規準」の「電算室」の値に対して50%割増値以上		5.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPIm=0.52		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			3.0	0.50	-	-	3.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	定流量弁を設けた器具、小節水型器具を採用している。		4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	分別回収が可能な乾式間仕切を使用		5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤	不活性ガス消火剤を使用		4.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0, GWP1.0の断熱材を使用		5.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮	LCCO2排出率86%		3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	駐輪場と駐車場を確保		4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	